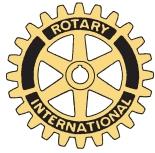


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 豊
幹事 小川 耕示
会報委員長 丹羽 克誌

2013 ~ 2014年度 国際ロータリー ロンD.バートン 会長テーマ

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2831回例会プログラム

[当年度=23回目; 当月=1週目]

2014年(平成26年)2月3日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(2/15) ……
西三河分区インターシティ・ミーティング
15:00~ホテルグランドティアラ安城
※2月10日(月)の例会変更分です。
(2/17) ……
卓話 「ジョークの由来とその効能
—ユダヤ民族の歴史を調べて—」
講師 坂 茂 会員
(紹介者 前田 孝司 会員)
- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「成功長寿企業における経営の継承」
講師 株式会社 出版文化社
代表取締役社長
浅田 厚志 様
(紹介者 嶋津 孝久 会員)

16. 謝辞
17. 点鐘……………〈会長〉
18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

ビ ジ タ ー

名古屋東山 RC (副会長) もりかわ たつゆき 森川 辰幸 様

出 席

会員総数 96名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 11名 出席率 88.51%
前々回(1/20)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 1月31日、ディースクエアにて開催された刈谷青年会議所の賀詞交歓会に参加してまいりました。
2) ポールハリスフェローのマルチプルバッチが届いております。嶋津孝久会員にはマルチプル5回、平野和一会員、伊藤節夫会員、市川裕大会員、杉浦世志朗会員、鈴木豊会員にはマルチプル1回をお渡しします。



- 3) ロータリー米山記念奨学会の寄付総額地区第5位の感謝状を頂きました。
4) 地区委員会の委嘱状が届いておりますのでお渡しします。

幹事報告

- 1) 2月1日に新会員研修セミナーが豊橋創造大学にて開催され、磯部一智会員、加藤大志朗会員、中川耕児会員、都築浩介会員、佐々木裕明会員、豊田浩正会員が参加されました。
- 2) 次週の例会は、2月15日のIMに変更になります。午後3時よりホテルグランドティアラ安城にて式典が開催されます。刈谷からJRで行きますので2時に改札前に集合下さい。
- 3) ローターリー米山記念奨学会の領収証をメールボックスに入れさせて頂きました。財団の領収証はもうしばらくお待ち下さい。

会長あいさつ

鈴木 豊



平成元(1989)年3月13日
創立35周年記念式典
35代会長 野村 重彦
記念事業として

1. 35周年に亘って頂いた他クラブのパナーの整理
2. 本年度当クラブがホストする地区大会への協力

3. ローターリー交換学生派遣による国際友好の推進
4. 35周年記念例会の挙行
5. 35周年記念誌の発行。

当日の新聞の見出し

きょう開業1周年 新幹線三河安城駅 利用者は1日3,000人弱

周辺の街づくり遅れ響く

「西三河の玄関口」として開業した安城市二本木町の新幹線三河安城駅が13日、1周年を迎える。12日までの乗降客数は約98万人で、1日平均は約2,700人。予想1日客数(5年平均)の3分の1強だが、野々山求(もとむ)駅長は「初年のうえ駅だけが先行して建てられ、周辺の街づくりが遅れているため」とみている。今週末には100万人を達成する見込みだ。

同駅は開業初日、鉄道マニアらが多数入場したり、名古屋駅まで乗る人があり、乗降客数は1万人と好スタートを切った。しかし、駅建設地が決定(昭和60年3月)してから着工(同年7月)まで間がなかったことから、とりあえず駅舎建設を最優先。周辺の道路整備と街づくりが後回しになったこと、「ひかり」が停車しないことなどのため…

(中日新聞)

[ひと言]

東海道新幹線は三河平野のど真ん中を通っているのに、三河の駅は豊橋しかありませんでした。昭和49(1974)

(2)

年に東海道新幹線駅新設期成同盟会が結成され、新駅候補地の一本化を愛知県に一任しました。58年10月、「新幹線駅誘致安城市民の会」が結成され、翌年、候補地を安城市二本木地区に愛知県が裁定。昭和59年に駅建設決定。そして63年3月13日に開業しました。

請願駅として誕生したため、総事業費137億円は地元負担でした。個人的には自動車産業で活発な刈谷市に何故、駅ができないんだと、悔しかったのを覚えています。

年間の1日平均乗車人員をみますと、平成16年によやく5,000人を超えましたが、その後、5,500人前後を推移しています。開設1年後の3,000人から約25年経過しても利用者があまり増えていないのは、安城市の隣の刈谷市の住民としては残念です。「こだま」のみの停車なので不便さは拭えませんが、皆さんもっと「三河安城」を利用しましょう。

お祝い

2月の会員の誕生日…盛田豊一、橋本恭典、岩瀬正人、中林久美、伊藤節夫、加藤大志朗、佐野彰彦会員。

配偶者の誕生日…平野恵子(和一)、野村弘子(重彦)、加藤好子(恒治)、杉浦光子(芳一)、桂木美砂(正樹)、石川ふみ子(覚雄)、埴由美子(栄一)様。

2月度結婚記念日…竹内一郎、廣根実、橋典子、桂木正樹、馬場理好、市川裕大、松井秀仁、中川耕児会員。

2月度入会記念日…黒田義之、羽田育哉、神谷光義、加藤恒治、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄、豊田貴久、牧野健一会員。

卓話

「成功長寿企業における経営の継承」

株式会社 出版文化社

代表取締役社長 浅田 厚志 様



今週の2月6日は弊社創業日でちょうど30周年になります。その機会に、ご当地有力者の皆さまにお話をする機会に恵まれたことを、たいへん光栄に存じております。

私は経営の傍ら、長寿企業を調査・研究してきました。会社が25年、自分が50歳になって、今後の経営ポイントの置き所を考えた時に、次代への継承を視野に入れる必要を感じました。そして、将来も会社は発展してほしいが、それ以上に経営の継続のほうが大事と考えました。それを学ぶ対象として長寿企業をあげ、青学大学院の修士、続いて博士課程に入って研究を進めました。それには当社が社史の企画・制作が主要事業になっていることもございました。

本日の卓話から、「成功長寿企業」を経営要点の一部をご紹介します。最大の特徴は、会社と社員の関係を尋ねた「実力主義と家族主義」です。実力と家族の中間に「どちらでもない」を設けて5段階にしたところ、「実力主義」

と「やや実力主義」が合計で45%となりました。ところが、これに収益状況を掛け合わせると、家族主義の会社は利益率が低く、一方、実力主義は高い利益率の会社と赤字の会社が出る可能性が高い。そして、高い収益を安定的に出しているのは「やや家族主義」の会社でした。これは家族主義ではちょっと息苦しい、実力主義ではぎすぎすする。そこで「やや家族主義」が最も安定し、その結果が効率経営につながっていると考えられます。

また、今まで経営を継続してこれた理由の第1位は「同族を続けてきたから」であり、後継者の人選で重要点を聞くと「同族であること」が最高でした。ここから社員は実力主義だが、役員は同族で家族主義という心情が見えてきます。確かに、株式は75%が同族所有という回答でしたので、長寿企業には独特な経営手法があることがわかります。ご静聴いただき、ありがとうございました。